

發行兼編輯人 川崎文治
印刷所 常盤每日新聞社

常盤新報

定部金貳錢 廣告費五錢 印刷費五錢 零售每份五錢

一月九日夕刊

梅淋小內
毒病兒科
科科科
(需應院入) 平町紺屋町
藤沼醫院
電話 五〇七番

電話 卅一番
原齒科醫院
平町土橋通り

銀なべ
牛肉 販賣元 石川亭
平町田町 電話 四三番

入院隨意
皮膚小兒科
花柳病科
青沼醫院
醫學士青沼淡夫
平町城山(舊城跡)三の九
電話 四〇三番

鐵道省 御指定
福島縣廳 工業學校 試驗證明
萬年瓦
萬年瓦工業株式會社
福島縣四倉町
電話 三八番

寄書
信念を確めよ
— 承前 —
政界通人
我國も御維新當時は民心大に緊張して何事によらず眞剣事に當るの風があつた、之れ一に世界的文化に刺戟せられて一日も早く列強の班に伍せむとするの熱烈なる慾求が國民的信念をなした結果である、翻つて今日の狀態を見るに遺憾ながら往時の眞剣味を失ひ意充ち氣驕るの弊なしとしない、今にして反省自戒往年に優るの奮闘心を喚び起さずんば帝國の前途寒心に堪わざ

るものありと云はねばならぬ、帝國の使命然らば如何にして弛緩せる民心を緊張せしむべきか之れには帝國の使命を明確にし依つて以つて國民的信念を作興せしむることを必要と信する、曩日來我輩が東洋大局の安定を確保することを以つて我國是とし此根本的信條の下に各般の國策を樹立すべしと絶叫せるは之れが爲めである、今日國內に於ける世評を顧みるに政黨は黨本位に傾きて動もすれば國家を忘却せむと云ふ各階級は階級本位の争ひを事として國利民福を度外視せむと評せられて居る、國

内に此聲ある時に當り余の特に國家本位の主張を高唱する所以のものは深く帝國の將來を憂ふるが爲めである言ふ迄もなく國民には國民としての目標がなくはならぬ、此目標に向つて勇往邁進することが國運を開拓する唯一の活路である帝國は今や正に重大なる時局に臨んで居る、余は普く我國民に懇へて剛健雄大なる國民精神の勃興せむことを切望して己まないものである
(完)

日本勸業債券通信社
福島共榮無盡會社
外交員募集 大谷保太郎
磐城平町南町 電話 三四四番
他二種選法アリ希望者ハ履歷書持参ノ事外交員ハ自宅ヨリ直接外交ニ當ルモ差支ナシ

時計見習生入用
御希望の方は御来店願ひます、退店後にはすぐ様獨立營業の出来る様毎月貯蓄待遇法が付いて居ます、早い方が勝ち
平町壹丁目
常盤屋時計店

釀造元 石城郡平窪村
酒鶴仙 松吉屋本店
電話 二四一番

看護婦派出所
の求のに應ず
平町南町
平看護婦會
電話 三〇七番

御用意は？
毎朝霜が眞白に降る様になり誠に寒くなりました
お寒さの御用意として先づ暖で丈夫なラシヤ毛織類が一番です
なかや洋服店
平町二丁目
(電話 二〇三番)

安價！豊富
ショール
ワイシャツ
本毛シヤツ
子供マント
洋品各種
家庭ノ編物トシテ
經濟ナ毛糸各色澤
山前ツテ居リマス
海岸線平町
鶴屋
電話 百四十番

平町田町 電話 三三三番
丸登株式會社
川添房二郎

式賣買中値 電話に金融

銘柄	拂込	時價
磐城銀行	五〇、〇	五三、五
平銀行	五〇、〇	六八、〇
磐越銀行	一一、五	一〇、五
磐城實業	五〇、〇	四二、〇
田村實業	一一、五	一一、五
四倉銀行	一七、五	一七、五
農工銀行	二〇、〇	二五、〇
同 新	一五、〇	一九、〇
同 新	五〇、〇	五二、五
同 新	一一、五	一四、五
七七銀行	一一、五	九、八
郡山電氣	五〇、〇	四七、〇
同 新	二五、〇	二二、五
只見川電	一一、五	七、五
植田水電	一一、五	一五、五
好間水電	一一、五	一三、五
磐城建物	一一、五	六、〇
磐城製菓	二〇、〇	二、五
平信託	五〇、〇	二〇、〇
磐城勸業	一一、五	一三、五
植田物産	三〇、〇	二六、〇
平製氷	二五、〇	一八、〇
好間軌道	五〇、〇	二五、〇
入山新	三三、五	一七、〇
小田炭礦	二五、〇	七、〇
磐城炭礦	五〇、〇	四一、〇
同 新	二二、五	一八、〇
磐城セメント	五〇、〇	六五、〇
同 新	三五、〇	四四、〇
平運送	一一、五	八、〇

巖谷小波先生の 來郡を好機として

▽……本社は揮毫會を催す
▽……陸續に御申込を乞ふ

巖谷小波先生が本郡教育會の招聘に應じ各處に講演の爲め本月下旬頃來郡さるゝを好機とし本社は平町兒童をして親しく先生の講話に愉悅を感じしめんごた伽講演會を開催する費用に當てる爲め風雅なる畫に配するに先生一流の俳句を以つてせる揮毫を乞ふて是れを左記の如く一般に頒布する事になりました、何卒各位に於かれては平町兒童娛樂の爲めに貢獻せんごする本社の微衷を諒せらるゝと同時に既に定評ある先生の芳墨を永遠に傳へんが爲め此舉を賛せられて陸續に御申込みの程を願ひ上げます

半切畫賛 十圓
同句のみ 五圓
絹畫賛 十五圓
同句のみ 七圓五錢
色紙、短冊、雅帳、扇面等は右の半額
注意——豫定數に達すれば
直ちに締切ります

申込所 常磐毎日新聞社

植田町長の 野心家二三

後任者の選舉
石城郡植田町は中野町長没後欠員の儘であつて十二日はそれが選舉會を開く筈であるが輿論は現臨時町長馬上

山田村の火事 石城郡山田村上山田川原幸藏方の廬屋から八日午前二時頃出火し傍らの土蔵一棟を焼

氣候は暖く…… 活氣ある平町に驚く

▽……岡部稅務署長の談

平稅務署の新任署長岡部掬氏は昨日から本日に於いて各官衙其他を新任挨拶の爲め歴訪したが「平町は明治廿三年頃に一寸立寄つた事がありすが其頃に比較すると町並み等に雲泥の相違があり私の郷里水戸市に比較して活氣横溢の有様を見て驚きました、それに氣候は前任地山形縣の春の頃を思はせ温いので斯の如く外套を羽織らずに飛び廻つて居ます」と語つて居た

穀物検査の結果

舊臘中の結果
平穀物検査支所が舊臘中に等級検査した總俵數は四千四百四十四俵で其内一等米十八俵、二等四十二俵、三等六百二十七俵四等千九百七十一俵と云ふ割合である

磐銀配當案

純益十萬六千
平町警署銀行にては来る十日八日組會を開き純益十萬

失して鎮火したが原因損害等取調へ中

警署銀行に 偽銀貨現る

精巧を極めて
一昨七日平町警署銀行に於て取扱ひ現金計算卓上へ取おとしたる五十錢銀貨の音響が普通のものと聊か異なる點があるので仔細に檢したる處表面一見眞偽の判別し

けふ入營者見送り 賣れた平驛の入場券

午前十一時迄に千六百枚
出發者は四十八名

今日の平驛は入營者の見送りで驛前廣場が人を以て埋められ午前十一時迄の入場券は既に千六百枚を賣盡した程の勢ひであるが入營者は歩兵第二十九聯隊四十三名、千葉縣津田沼十兵隊三名、盛岡騎兵隊二名等何れも勇氣凛々として平驛を出發した

消防器具整理

石城郡高久村消防組にては十五日から村内一齊に消防器具機械の整理を行ふと



チウブでゲートル

自轉車のタイヤの中にあるチウブと云ふものを縦裂いて、其端に何でもよいから紐をつけるのです、テッ

最勝院は 四月に竣工

盆に落成式

石城郡大浦村大字上仁井田最勝院は既記の如く過般來同地檀徒が奮起し工費十萬圓を以つて本堂を再建すべく計畫し着工のころこの程大体に於て完成の域に近づいたので遅くも来る四月頃迄には全部の工事が竣工すべく新築落成式は舊七月の宇蘭盆を期して盛大

紺屋町の 下駄商襲る

賊は昨夜捕る

石城郡神谷村大字鎌田字岸農前科一犯鈴木肇(三)は昨朝午前二時頃平町紺屋町下駄商須田初次郎方に忍入し七子綿袴外四點(價格廿六圓)を劫取し昨夜平署安田刑事に逮捕された

五丁目通りに 轉る凍死体

役場が假埋葬

本日朝平町五丁目三番地前大通りに六十歳位な乞食体の老爺が凍死して居たので平署佐々木部長檢視の上町役場に引渡して假埋葬に附した

娘は何處に

病む父から
搜索願ひを

山形縣米澤市新町橋瓜重藏長女まさ(七)は昨年八月平町に逃走し行衛を晦したが實父重藏は腎臟病にて危篤に陥り子供四人を抱へて家計を營む事が出来ないと此程平署に搜索方願出た

の方がよいです。
△木炭屑でタドン代用
炭粉をためておき、少し大きいのは碎いて粉にし、張物をした時に出る糊のしぼりかす又は下等糊をねばり合せ、固くにぎり、雨のかからぬところにならべて乾かして用ゐます

平町人事

- △五丁目一 澤如實吉氏二女入重子
- △鐵道官舎四 田中辰右工門氏五男也
- △婚姻
△銀谷町九 上野貞治氏二五(福島縣田村郡三春町字八幡町一五小野寺サチ(二五))
- △新川町二 建具職渡邊米松氏(二六)石城郡内郷村大字自水長谷川ハル(二二)
- △久保町一九 吉田都義雄氏(二二)石城郡内郷村大字内町金成キヤ(二二)

擧げ會場變更

昨報
十一日午後一時から舉行される二毛作品評會褒狀授與式の會場性源寺は都合に依り藤田女學校に變更された

兔の耳

珍妙な損害賠償の
訴訟が起つた訴訟の原因は電話交換手あちらの名で

六千四百四十三圓十四錢を左の如く處分すると
二萬圓特別積立金、三千圓行員退職給與積立金、三千圓役員賞與金、三萬七千五百圓配當金、(年一割)四萬二千九百四十三圓十四錢後期繰越金

はハロー姫の怠慢の爲め火事の警告が遅れたからといふのだからめづらしい譯
▽原告は同州オレンジ市の居住者二名、被告はニューヨークで電話會社で、ニューヨーク裁判所に持ち出された一事件である、原告の名は自働車々庫の持ち主マikel・コデーといふお爺さんと、ジェームス・マツグラスといふ一借家人であつて、前記ニューヨーク電話會社に四萬一千ドルの損害金を要求してゐる。▽その理由としては、右兩名の家に火事の際、電話會社の交換手の出方が間に合はず火事の警告を與へるの